



お日さまの光のように

校長 橋本 滋

学校の桜も満開となり、吹く風に春の柔らかさと香りを届けてくれています。今日は、始業式、午後からは入学式があります。そんな新しい出会いの日です。子どもたちも新たな希望と期待で胸が膨らんでいることでしょう。進級、入学おめでとうございます。

平成29年度は、新1年生116名を迎えて児童数686名、教職員は異動により新たに11名が加わり42名でスタートいたしました。

大東小学校の学校教育目標は「かしこく なかよく たくましく」キャッチフレーズは「みんなきらきら さわやか笑顔の大東小学校を目指して」です。これらの目標の実現に向けて、日々の授業や行事、学校生活の中で子どもたちを育ててまいります。またその一端を学校公開や授業参観で、公開していきますのでご覧ください。

さて本校の校章は、八枚のバラの花弁が風車のように回転しているかのようにも見えますが、そのモチーフは太陽とその光りの輝きを表しています。昭和46年9月に制定されています。作者は、下木崎在住の当時浦和工業高校教諭であった「中村 高樹」氏によるものです。氏は校章に込めた願いを次のように述べています。(原文のまま記載)

「夏の太陽のきびしい光はたのもしいものです。冬のすき通るような光もすばらしいものです。

明るい太陽の光をあびて、元気にとびまわる子どもたちの姿は、何ものにもかえがたいものです。

校章は太陽の光をあらわしています。強く、そしてやさしい子どもに育つことを願ってこの校章を作りました。」

昭和49年に校歌が制定されました。そして校歌の2番にこんな歌詞があります。「みんなみんな太陽 はてもなく つよく 大きい 輪になって 結ぶ友情 かがやくわれら —— 」やはり、太陽のように強く、一人ひとりが輝くことを願っています。さらに、本校のキャラクターは「キラリくん」と言って、お日さまがやさしく微笑みかけているデザインになっており、児童会の歌とともに子どもたちに親しまれています。

このような伝統に支えられて本校はあります。地域の方々の春のお日さまのような温かい眼差しが子どもたちの背中を温めてくれています。夏の燃えるような日差しは、先生たちの子どもたちをよりよく伸ばしたい、もっと成長させたいとの熱い想いです。とても居心地のいい、清々しい秋の日差しは、なんでも受け入れてくれるお母さんです。子どもたちはその中で元気いっぱい活動します。そして、冬の透き通った真っ直ぐな光は子どものたくましい成長を願うお父さんの光です。みんな子どもたちを見守るお日さまの光です。

お日さまの光が、動植物の成長にとってなくてはならないように、学校と家庭、地域の教育力を合わせ、子どもたちを慈しんでいきたいと思えます。

学校は集団生活をする場です。別な言い方をすれば、集団をとおして学ぶ場です。人は自分と違うこと、自分にはない感じ方や考え方があることが学べます。ですから、トラブルになることもあります。

子どもたちはその解決をとおして学びます。そして仲直りの仕方を学んでいきます。

友だちとの付き合い方が分かってきます。成長に従い、自分の感情をコントロールする

能力も次第に身につけてきます。子どもたちにとって「生きる力」となるよう指導

していきたいと思えます。ご協力、ご支援よろしくお願ひします。

